

令和4年度

履修科目ガイド

言語聴覚学科

【4年】

リハビリテーションカレッジ島根

言語聴覚学科 新教育課程

教育内容	授業科目	単位	履修時間	1年		2年		3年		4年			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎科目	人文学	心理学	2	30	30								
		日本語表現	2	30	30								
		4単位/2科目 合計	4	60	60	0	0	0	0	0	0		
	社会科学	人間関係学	2	30		30							
		社会保障学	2	30						30			
		地域環境福祉学	2	30					30				
		4単位/2科目 合計	6	90	0	30	0	0	30	0	30		
	自然科学	統計学	4	60	30	30							
		生物学	2	30	30								
		音の物理学	2	30		30							
	8単位/3科目 合計	8	120	60	60	0	0	0	0	0			
保健体育	保健体育(実技)	1	45		45								
	保健体育(講義)	1	15				15						
	2単位/2科目 合計	2	60	45	0	0	15	0	0	0			
外国語	英会話	2	30	15	15								
	専門英語	2	30			15	15						
	4単位/2科目 合計	4	60	15	15	15	15	0	0	0			
専門基礎科目	基礎医学	解剖学Ⅰ(骨学・靭帯学・筋学)	4	60	30	30							
		解剖学Ⅱ(循環器学・内臓学・神経学)	4	60	30	30							
		生理学	4	60	30	30							
		一般臨床医学	2	30			30						
		病理学	1	15			15						
		19単位/6科目 合計	15	225	90	90	45	0	0	0	0		
	臨床医学	内科学	2	30				30					
		小児科学	1	15				15					
		精神医学総論	2	30			30						
		リハビリテーション医学	2	30			15	15					
		耳鼻咽喉科学	2	30				30					
		神経内科学	2	30			15	15					
		中枢神経障害学	2	30			15	15					
		老年学	1	15				15					
		形成外科学	1	15				15					
		15単位/9科目 合計	15	225	0	0	75	150	0	0	0		
	臨床歯科口腔外科学	臨床歯科口腔外科学	2	30			30						
		2単位/1科目 合計	2	30	0	0	30	0	0	0	0		
	音声・言語・聴覚医学	呼吸発声発語系の構造と機能	2	30	15	15							
		聴覚系の構造・機能	2	30	15	15							
		神経系の構造・機能・病態	2	30	15	15							
		6単位/3科目 合計	6	90	45	45	0	0	0	0	0		
	心理学系	臨床心理学	2	30			15	15					
		生涯発達心理学	2	30			30						
		学習・認知心理学	2	30				30					
		検査法	8	120					60	60			
		心理測定法	2	30					15	15			
		16単位/5科目 合計	16	240	0	0	45	45	75	75	0		
	言語学	言語学	2	30			30						
		2単位/1科目 合計	2	30	0	0	30	0	0	0	0		
音声学	音声学	3	45	15	30								
	3単位/1科目 合計	3	45	15	30	0	0	0	0	0			
音響学	音響学・聴覚心理学	2	30					15	15				
	2単位/1科目 合計	2	30	0	0	0	0	15	15	0			
言語発達学	言語発達学	2	30			30							
	言語発達学演習	4	60				60						
	6単位/2科目 合計	6	90	0	0	30	60	0	0	0			
社会福祉・教育系	リハビリテーション概論	2	30	30									
	関係法規	1	15							15			
	3単位/2科目 合計	3	45	30	0	0	0	0	0	15			
言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論	2	60	30	30								
	基礎言語聴覚学実習	1	45		45								
	言語聴覚障害学診断学	1	30					15	15				
	4単位/3科目 合計	4	135	30	75	0	0	15	15	0			
失語症・高次脳機能障害学	失語症Ⅰ	2	60			30	30						
	失語症Ⅱ	2	60					30	30				
	高次脳機能障害	2	60					30	30				
	6単位/3科目 合計	6	180	0	0	30	30	60	60	0			
言語発達障害学	言語発達障害Ⅰ	1	30			15	15						
	言語発達障害Ⅱ	2	60					30	30				
	言語発達障害学演習	1	30					15	15				
	脳性麻痺	2	60			30	30						
	6単位/4科目 合計	6	180	0	0	45	45	45	45	0			
発声発語・嚥下障害学	音声障害	1	30					30					
	器質性構音障害	1	30					15	15				
	機能性構音障害	1	30			15	15						
	運動性構音障害Ⅰ	1	30			15	15						
	運動性構音障害Ⅱ	1	30					15	15				
	嚥下障害Ⅰ	1	30			15	15						
	嚥下障害Ⅱ	2	60					30	30				
	コミュニケーション実技・研究演習	1	30					15	15				
	吃音	1	15						15				
	10単位/9科目 合計	10	285	0	0	45	45	105	90	0			
聴覚障害学	聴覚障害Ⅰ	2	60			30	30						
	聴覚障害Ⅱ	1	30					30					
	視覚聴覚二重障害	1	30					30					
	補聴器	1	30					30					
	手話Ⅱ	2	60			30	30						
	7単位/5科目 合計	7	210	0	0	60	60	90	0	0			
臨床実習	評価実習	3	120						120				
	臨床実習	14	560							280			
	17単位/2科目 合計	17	680	0	0	0	0	0	120	280			
選択必修科目	解剖学演習	1	15				15						
	言語聴覚療法学特論	4	60						15	45			
	手話Ⅰ	2	30		30								
	嚥下障害概論	2	30	15	15								
	ゼミナール	2	30	15	15								
	S.T援助技術	2	30					15	15				
	HR	9	135							60			
	22単位/7科目 合計	22	330	30	60	15	0	15	15	75			
総単位数・時間数及び学年別時間数				166	3440	420	405	465	465	450	435	400	400
						825		930		885		800	

目 次

◎4年次 開講科目

社会保障学	1
関係法規	2
臨床実習	3
言語聴覚療法学特論	4
HR	5

4年次

開講科目

授業科目名	社会保障学			(フリガナ) 担当教員名	ミヤケ 三宅 アヤコ 綾子
開講学年	4年	開講学期	通年	必修/選択	必修
授業形態	講義及び演習	単位数	2	時間数	30
授業概要					
リハビリテーションは関連する各制度のもとで行われる。制度の適切な適用を図るため、社会保障制度について学習するもの。					
GIO (一般目標)					
社会保障制度の概要と実際について理解する。自立支援・就労支援、社会保障制度や地域包括ケアシステムに関する理学療法士の役割を法的な観点から理解した上で、他の関係機関との連携の必要性について理解する。					
SBO (行動目標)					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度の種類を列挙し、概要を説明できる。 ・社会保障制度の歴史について述べることができる ・生活環境に関わる制度について説明できる ・保健、医療、福祉の動向と政策について説明できる 					
授業回数	授業内容				
第1回	私たちの暮らしと社会保障制度				
第2回	社会保障制度の概要 (種類・機能・役割)				
第3回	障害者総合支援法 (自立支援・就労支援含む)				
第4回	障害者総合支援法 (自立支援・就労支援含む)				
第5回	医療保健制度の概要と実際				
第6回	介護保険制度の概要				
第7回	介護保健制度の問題と動向				
第8回	地域包括ケアシステムの概要とリハビリテーション専門職の役割				
第9回	多職種連携				
第10回	年金制度・労災保険制度				
第11回	児童福祉法				
第12回	バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する法制度				
第13回	公衆衛生				
第14回	海外の社会福祉制度				
第15回	保健・医療・福祉の動向と今後の施策				
成績評価基準					
後期末に筆記試験を実施する。60点未満の場合は再試験を実施する。					
教科書					
福田康生 著:社会保障・社会福祉.医学書院					
参考書					
随時、資料を配布します					
実務経験に関する内容					
急性期・回復期・維持期、外来リハ、訪問リハ、通所リハ、施設リハ等多分野において理学療法士として実務を経験した教員が、その経験を生かした事例等を盛り込み、講義・演習を行う。					

授業科目名	関係法規			(フリガナ) 担当教員名	アオキ コウ 青木 耕
開講学年	4年	開講学期	前期	必修/選択	必修
授業形態	講義	単位数	1	時間数	15
授業概要					
言語聴覚士法と診療報酬体系について学ぶ。					
GIO (一般目標)					
言語聴覚士の法的基盤を説明できる。					
SBO (行動目標)					
①言語聴覚士法について理解し、説明できる。 ②診療報酬の仕組みを理解し、診療報酬点数の計算ができる。					
授業回数	授業内容				
第1回	言語聴覚士法とは				
第2回	1条~20条				
第3回	21条~40条				
第4回	41条~50条				
第5回	診療報酬の仕組みを学ぶ				
第6回	単位制とリハビリテーションの区分				
第7回	言語聴覚士が関係する診療報酬				
第8回	診療報酬の計算				
成績評価基準					
筆記試験100%					
教科書					
参考書					
実務経験に関する内容					
言語聴覚療法の臨床経験を持つ教員がST法の詳細から診療報酬の内容まで講義を行う。					

授業科目名	臨床実習			(フリガナ) 担当教員名	ゲンゴ チョウカク ガッカ キョウイン 言語聴覚学科教員
開講学年	4年	開講学期	通年	必修／選択	必修
授業形態	実習	単位数	14	時間数	560
授業概要					
実習施設の臨床実習指導者の下で臨床実習を行う。					
GIO（一般目標）					
正確な評価をもとに訓練を立案・実施し、その効果を測定する。					
SBO（行動目標）					
①適切な評価ができる。 ②評価をもとに適切な訓練の立案・実施ができる。 ③訓練効果を測定し、計画の修正ができる。					
授業回数	授業内容				
	<p>学外の実習施設において7週間の実習を2回実施する。対象者に対し、正確な評価をもとに訓練計画を立案し、訓練を実施する。訓練期間終了後には再評価を実施し、訓練効果を測定する。訓練効果によっては計画を修正する。症例報告書では訓練プログラムから再評価、考察までを作成する。</p> <p>実習地での実習後は学内で症例報告会を実施する。</p> <p>※3年次の「評価実習」および4年次の「臨床実習」において、合計320時間以上は病院または診療所で行うこととする。</p>				
成績評価基準					
実習指導者の評価90%、学内での症例報告会10% 2回の実習成績を合計し、総合的に評価を行う					
教科書					
参考書					
実務経験に関する内容					
急性期や回復期リハ、児童発達支援・放課後等デイサービス等において言語聴覚士として臨床経験を持つ教員が、臨床実習、症例報告等の指導を行う。					

授業科目名	言語聴覚療法学特論			(フリガナ) 担当教員名	アオキ コウ ホシダ マチミ 青木 耕 本多 真奈美 クリバヤシ カズキ ヒラカワ チエコ 栗林 一樹 平川 智恵子
開講学年	4年	開講学期	通年	必修/選択	必修
授業形態	講義	単位数	4	時間数	60
授業概要					
模試・講義およびシェア学習を通して国家試験合格を目指す。					
GIO（一般目標）					
国家試験合格に必要な専門・基礎知識を身につける。					
SBO（行動目標）					
①言語聴覚士に必要な医学的な病態と治療方法について説明できる。 ②基礎科目については最低でも5割の正答率を残す。 ③専門科目は最低でも8割の正答率を残す。					
授業回数	授業内容				
第1回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第2回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第3回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第4回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第5回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第6回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第7回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第8回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第9回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第10回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第11回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第12回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第13回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第14回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第15回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第16回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第17回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第18回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第19回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第20回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第21回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第22回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第23回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第24回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第25回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第26回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第27回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第28回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第29回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
第30回	国家試験対策 模試・シェア学習・特別講義				
成績評価基準					
試験100%					
教科書					
参考書					
実務経験に関する内容					
急性期や回復期リハ、児童発達支援・放課後等デイサービス等において言語聴覚士として臨床経験を持つ教員が、言語聴覚士国家試験に向けて指導する。					

授業科目名	HR			(フリガナ) 担当教員名	アホキ 耕 本多 真奈美 クリバヤシ カズキ ヒラカフ チエコ 栗林 一樹 平川 智恵子
開講学年	4年	開講学期	通年	必修/選択	選択
授業形態	講義	単位数	9	時間数	135
授業概要					
自分の課題を分析し、適切な目標を立て実習や就職に向けての準備を行う。国家試験に向け、シェア学習を通して知識を深める。					
GIO (一般目標)					
実習を振り返り職業倫理について深く考える。また、国家試験に向けて基礎知識・専門知識を復習し習得する。					
SBO (行動目標)					
①実習の自己課題を説明できる。 ②担当科目を復習し説明できる。					
授業回数	授業内容			授業回数	授業内容
第1回	長期臨床実習ガイダンス			第35回	国家試験 シェア学習【聴覚系】
第2回	評価実習記録表 作成			第36回	国家試験 シェア学習【聴覚系】
第3回	第1期臨床実習 個人調書作成			第37回	国家試験 シェア学習【聴覚系】
第4回	第1期臨床実習 個人調書作成			第38回	国家試験 シェア学習【小児】
第5回	第1期臨床実習 個人調書作成			第39回	国家試験 シェア学習【小児】
第6回	第1期臨床実習記録表 作成			第40回	国家試験 シェア学習【小児】
第7回	第1期臨床実習記録表 作成			第41回	国家試験 シェア学習【小児】
第8回	就職試験オリエンテーション			第42回	国家試験 シェア学習【小児】
第9回	就職試験オリエンテーション			第43回	国家試験 シェア学習【小児】
第10回	第2期臨床実習 個人調書作成			第44回	国家試験 シェア学習【小児】
第11回	第2期臨床実習 個人調書作成			第45回	国家試験 シェア学習【心理学】
第12回	第2期臨床実習 個人調書作成			第46回	国家試験 シェア学習【心理学】
第13回	第2期臨床実習記録表 作成			第47回	国家試験 シェア学習【心理学】
第14回	第2期臨床実習記録表 作成			第48回	国家試験 シェア学習【心理学】
第15回	第24回言語聴覚士国家試験 受験手続			第49回	国家試験 シェア学習【心理学】
第16回	第24回言語聴覚士国家試験 受験手続			第50回	国家試験 シェア学習【解剖学】
第17回	第24回言語聴覚士国家試験 受験手続			第51回	国家試験 シェア学習【解剖学】
第18回	国家試験 シェア学習【失語症】			第52回	国家試験 シェア学習【生理学】
第19回	国家試験 シェア学習【失語症】			第53回	国家試験 シェア学習【生理学】
第20回	国家試験 シェア学習【失語症】			第54回	国家試験 シェア学習【神経系】
第21回	国家試験 シェア学習【高次脳機能障害】			第55回	国家試験 シェア学習【神経系】
第22回	国家試験 シェア学習【高次脳機能障害】			第56回	国家試験 シェア学習【音声学】
第23回	国家試験 シェア学習【高次脳機能障害】			第57回	国家試験 シェア学習【音声学】
第24回	国家試験 シェア学習【摂食嚥下障害】			第58回	国家試験 シェア学習【音声学】
第25回	国家試験 シェア学習【摂食嚥下障害】			第59回	国家試験 シェア学習【音声学】
第26回	国家試験 シェア学習【摂食嚥下障害】			第60回	国家試験 シェア学習【音声学】
第27回	国家試験 シェア学習【構音障害】			第61回	国家試験 シェア学習【音声学】
第28回	国家試験 シェア学習【構音障害】			第62回	国家試験 シェア学習【言語学】
第29回	国家試験 シェア学習【構音障害】			第63回	国家試験 シェア学習【言語学】
第30回	国家試験 シェア学習【構音障害】			第64回	国家試験 シェア学習【言語学】
第31回	国家試験 シェア学習【聴覚系】			第65回	国家試験 シェア学習【言語学】
第32回	国家試験 シェア学習【聴覚系】			第66回	国家試験 シェア学習【言語学】
第33回	国家試験 シェア学習【聴覚系】			第67回	国家試験 シェア学習【言語学】
第34回	国家試験 シェア学習【聴覚系】			第68回	国家試験 シェア学習【言語学】
成績評価基準					
レポート提出100%					
教科書					
参考書					
実務経験に関する内容					
急性期や回復期リハ、児童発達支援・放課後等デイサービス等において言語聴覚士として臨床経験を持つ教員が、言語聴覚士国家試験に向けて指導する。					